

(平成29年1月25日)

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	西部人権啓発推進センター	氏名	大羽 恭子
派遣先 団体名	浜田市立周布公民館		
① 研修の日時 7月17日(日)8:30～15:00 9月14日(水)8:30～13:00 10月3日(月)8:30～12:00 11月5日(土)15:00～17:00			
② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。) ○7月17日(日)「グリーンカーペットフェスティバルinすふ」 周布公民館が企画し、周布地区の保育園児、小・中・高・大学生、PTA、民生委員、地域住民で設置された実行委員会が運営。周布っ子銭太鼓・フラガールのステージ発表、尻相撲大会・下駄飛ばし大会で選手召集・受付に携わる。地域住民・機関の連携、地域力を感じた。 ○9月14日(水)「周布公民館男性料理教室」～楽しくしっかり食べて、低栄養を予防しよう！！ 浜田市食生活改善推進協議会から講師を迎え、男性15名(内1名は浜田三中の職場研修生)と4品の調理と昼食会に参加。料理の手際が良く、次回の教室も楽しみにしておられた。 ○10月3日(月)「高齢者のグランドゴルフ大会と交通安全教室」 参加者44名が8組に分かれてグランドゴルフをした後、浜田警察署による交通安全講習を受講し、俊敏性や夜間の視力を測定した。最高齢は93歳。和気合い合いとグランドゴルフを楽しんだ後、交通安全について真剣に学ぶ高齢者の元気な姿が印象的であった。 ○11月5日(土)「公民館まつり」～作品展示の部～ 保育園児、小・中学生や地域の方の作品展示、子どもたちが収穫したコメ・餅・さつまいもの販売等あった。当センターも高校生作品の展示、ワークショップコーナー「思いやりの輪」で参画。			
③ 研修の感想 (研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。) 研修を通じて感じたこととしては、第一に地域の人々が主体的に活動に参加していること、第二に様々な機関と連携した事業を行うことにより、地域の課題の解決に向けていることである。 公民館は、住民の日常生活に即して行われる教育文化活動を支援するために設置され、多種多様な事業が行われている。そして、地域の課題の解決に向けて、住民を主体的な学習・実践活動に結びつけていく役割を果たしている。まさに、住民を主体とした地域ぐるみの活動を積極的に推進するという、社会教育施設として本来の姿である公民館の役割について再認識した			
④ その他特記事項 (※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)			